



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 2	6	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 48	69	ヘルパンギーナ	↓ 3	20
咽頭結膜熱	↑ 37	29	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 13	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 49	46	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 742	460	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 15	20
水痘	↑ 61	40	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 29	16	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 2	0	マイコプラズマ肺炎	→ 6	6
突発性発しん	↑ 39	36	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 水痘
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 742 件(前週報告数 460 件)と増加。地区別では、菊池、山鹿、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 149 件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 61 件(前週報告数 40 件)と増加。地区別では、八代、菊池、天草に多く報告がみられます。年齢別では、2歳の 19 件を最多に主に 6 歳以下からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数49件(前週報告数46件)と増加。地区別では、熊本、菊池、天草に多く報告がみられます。年齢別では、6歳の 13 件を最多に 3 歳以上からの報告です

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	11	17	29	178	21	12	2	14				2		13		1	2	
山鹿保健所				48					1					*	*			
菊池保健所	11	11	7	182	6	4		8				2						
阿蘇保健所				1	9									*	*			
御船保健所				5		1								*	*			
八代保健所	8	3	2	68	18	9												
水俣保健所	4		2	5		1			1					*	*			
人吉保健所	4		2	47	2	1			2					*	*			
有明保健所	2			120	5				7				4	2				1
宇城保健所	8	2	1	49	3	1			3				2					
天草保健所	2	4	5	31	6				3		3	3						3
計	2	48	37	49	742	61	29	2	39	0	3	13	0	15	0	1	6	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	2							1		1											
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	48	10	14	20	4																
咽頭結膜熱	37		2	8	2	6	6	4	6			3									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49					3	3	6	13	10	6	1	5	1	1						
感染性胃腸炎	742	9	45	149	77	71	64	65	37	44	29	30	73	10	39						
水痘	61	2	2	17	19	6	5	5	3				2								
手足口病	29	1	2	18	3	3			1				1								
伝染性紅斑	2			1		1															
突発性発しん	39	2	21	16																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	3		1							2											
流行性耳下腺炎	13				1	2	2	3	1	2	1		1								
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	15													1	6	2	2		3	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1			1																	
マイコプラズマ肺炎	6		2	1					1							2					
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿、菊池、有明

咽頭結膜熱が2週連続で急激に増加中!

咽頭結膜熱は、アデノウイルスが口、鼻、のど、目の結膜等から体内に入り引き起こす感染症で、通常夏場に流行のピークを迎えますが、秋にはいったん報告数が減り、年末に向けて再び増加する傾向があります。今年は例年より早い時期から増加に転じ、前週(第4週)以降大幅に報告数が増えています。全国の状況も、第4週以降増加の傾向にあります。

【症状】

- ・5~7日の潜伏期を経て、発熱、のどの痛み、目の充血、頭痛、吐き気、腹痛、下痢等。
- ・一般的には3~5日で軽快しますが、7型と呼ばれるウイルスの感染では、時に重症化することがあります。

【予防】

- ・流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行する。
- ・感染者との濃厚な接触を避ける等。

※症状がみられたら、安静にしておかりつけの医師の診察を受けてください。病院や施設等の集団の場で流行することがあります。熱が下がってもまだ体内にウイルスはいますので、症状が治まっても2日間は、学校や保育園は休ませましょう。